

やさしいところ みつけた！



<http://www.jrc.or.jp/activity/youth/>

本教材のねらい

本教材は、青少年赤十字が態度目標として掲げる、周囲を見渡し問題に「気づき」、問題解決の方法を「考え」、自ら解決方法を「実行する」へ導くことをねらいとしています。
自主的で自律した子どもを育て、助け合い、支え合う活動が期待できると同時に、新学習指導要領で目指す思考力、判断力、表現力の育成も期待できます。
キリトリセンより下を切り離し、コピーしてご活用いただけるよう構成されています。
右の使い方を参考に、「気づき」「考え」「実行する」をみつけてみましょう。



人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

本教材の使い方

ねらい

周囲を見渡し、問題に「気づき」、問題解決の方法を「考え」、自ら解決する方法を「実行する」人になるよう。

使い方(例)

本教材の使用例をご紹介します。ご自由に活用してください。

●ウサギは何に気づいたのでしょうか？

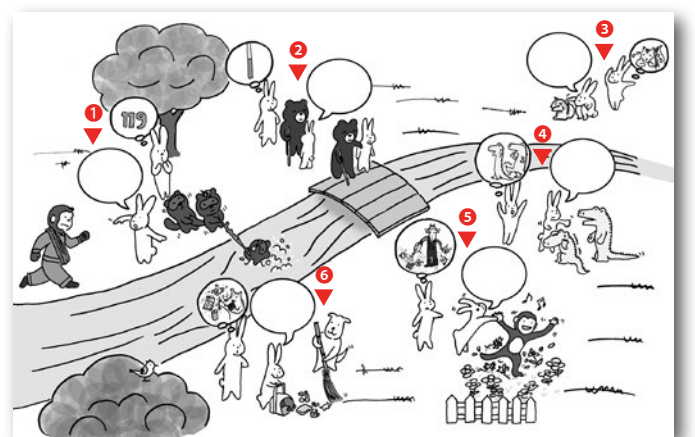
- ①溺れるタヌキを助けています、ウサギは？
- ②白いつえのクマが橋を渡ろうとしています、ウサギは？
- ③リスが泣いています、ウサギは？
- ④2ひきのワニのようすを見て、ウサギは？
- ⑤花だんを荒らすサルがいます、ウサギは？
- ⑥広場をイヌが掃除しています、ウサギは？

●ウサギが行動を起こしたのはなぜでしょう？

●ウサギが行動を起こさなかったら、どうなっていたでしょう？

●今できる最善のすることをする

いろいろ考えることから、自分にできるもっとも必要なることを決断して実行しましょう。少しでも自分にできることが増えることも大切です。



●思うだけではダメ

困っていることに気づいても行動におこさなければ助けたことにはなりません。実行することが大切です。

●ウサギが得たものはなんでしょうか？

人助けやボランティアは、相手から何かをもらうための行いではありません。相手のことを考える心を育みます。

●「気づき」「考え」「実行する」と「やさしいところ」についてのまとめ

「助けたい」という優しい心で見ると身の回りにはたくさんの「気づき」があります。自分で「気づき」、「考え」、今できる最善のことを「実行する」。常に周囲へ目を向ける注意深い生活を心がけましょう。

関連資料 「青少年赤十字ハンドブック小学生」P.12～17



「青少年赤十字指導者手引き」P.40～42



青少年赤十字機関紙 第539号 アンケートご協力をお願い（下記アンケートご記入のうえ、Faxでお送りください）

ご回答送付先 FAX:03-3432-5507 または E-mail : rc-junior@jrc.or.jp

Q1:今号の貴校・園におけるご活用状況 ☐活用した ☐活用していない

どのように活用しましたか？／なぜ活用されませんでしたか？

Q2:今号の最も良かった点と最も改善を要する点

良い点:

改善点:

Q3:その他のご意見、または今後希望するテーマ

ご勤務先について

☐幼稚園・保育所 ☐小学校 ☐中学校 ☐高等学校 ☐特別支援学校 ☐その他()

都・道・府・県

ご協力ありがとうございました

青少年赤十字機関紙(学生号)539号(令和2年4月1日)
発行：日本赤十字社 事業局 パートナーシップ推進部 ボランティア活動推進室 青少年・ボランティア課
東京都港区芝大門1-1-3 TEL 03-3437-7083 <http://www.jrc.or.jp/>

<http://www.jrc.or.jp/activity/youth/>



「青少年赤十字について」

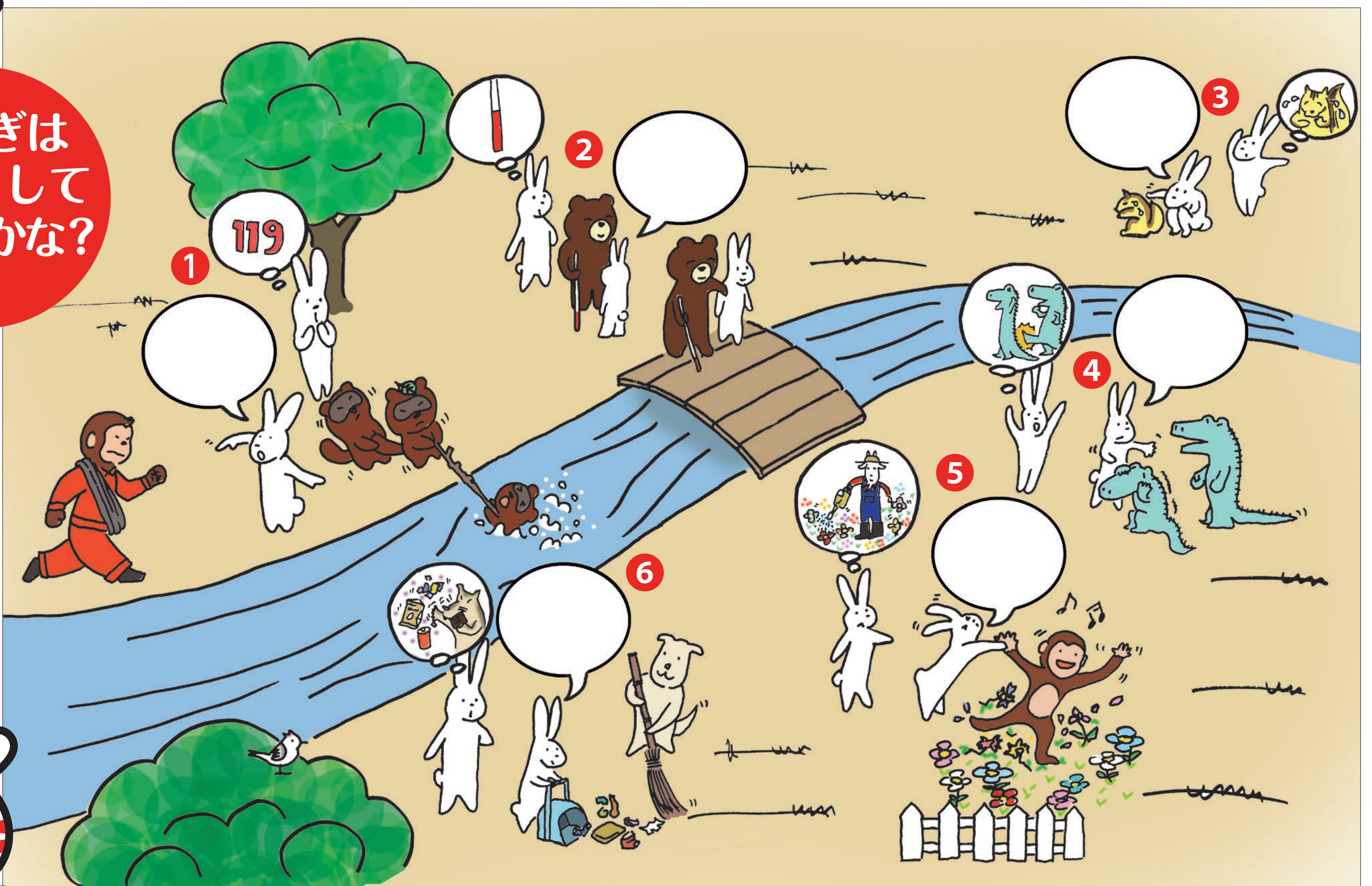


<キリトリセン>



うさぎは
なにをして
いるのかな？

やさしいところみつけた！



どんな言葉がかけられるかな？どんなこうどうが見えてくるかな？

